

鳥インフルエンザの予防対策も先手先手で対応しています

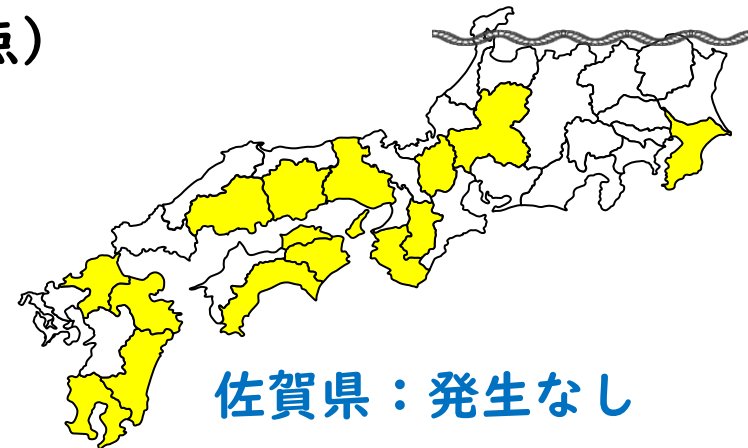
高病原性鳥インフルエンザは、鶏に対し伝染力が強く死亡率が高いことから、発生すれば、養鶏産業全体に甚大な影響を及ぼします。

国内の発生状況（今季）

15県36事例（令和3年1月19日時点）

（参考）県名は発生順、マル数字は発生農場数

香川県⑬、**福岡県①**、兵庫県①、**宮崎県⑨**、奈良県①、広島県①、**大分県①**、和歌山県①、
岡山県①、滋賀県①、高知県①、徳島県①、千葉県②、岐阜県①、**鹿児島県①**



県の主な対応

- 養鶏場への**消毒用消石灰の緊急配布**（1回目：11/10、2回目：12/15）
- 養鶏農家に対する「**消毒命令**」の発出（12/15～1/31）
- 知事トップの**鳥フル対策本部準備会議**を開催。発生予防と発生時の初動対応の備えを確認（第1回：12/3、第2回：12/10）

今後の対応

- **消毒命令の延長**：令和2年12月15日から令和3年1月31日までを**2月28日まで延長**
- 本日から、**3回目**の養鶏場への消毒用消石灰の緊急配布



12/10 第2回対策本部準備会議